

関工場

多岐にわたる事業を支える確かな技術工場

操業開始 1990年10月(国内工場として14番目、化成品工場として3番目に操業開始)

敷地面積 167,000m²

生産品目 高圧ホース、樹脂製ブッシュロックパイプ



①第1工場 ②第2工場 ③第3工場 ④ブリヂストンスポーツ(株)工場
⑤ブリヂストン/ブリヂストンスポーツ(株)工場 ⑥ブリヂストンBRM(株)工場
⑦事務所 ⑧厚生会館

多岐にわたる事業を支える確かな技術工場

関工場は周辺を緑に囲まれ、東に木曽川、西に長良川の清流を臨む静かな丘陵地の関工業団地内にある工場です。生産品目は、高圧ホース、ブッシュロックといったゴム製品、樹脂製品などです。また、同じ敷地内に複数のグループ会社工場が併設されており、ブリヂストン・グループの多岐にわたる事業を支えていることが大きな特徴となっています。

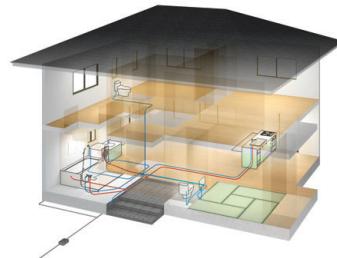
様々な特性をもつ製品で産業に貢献

関工場では、油圧機器の配管に用いられる高圧ホースを生産しています。ブリヂストンの高圧ホースは、42MPaという高圧に耐えるとともに、高温下での使用や繰り返しの加圧においても高い耐久性を発揮する製品です。更に柔軟性にも富み、コンパクトな配管が可能になります。建設機械などに使用されることで、産業に貢献しています。

併せて、ブッシュロックという戸建・集合住宅等の給水・給湯配管システムに使用される部品も生産しています。この製品は、樹脂製のため錆や腐食がないことや、軽量で柔軟性に優れ、振動にも強いことを特長としています。また、接続をワンプッシュで行うことが可能で、配管の作業省力化にも貢献しています。



建設機械に使用される高圧ホース



ブッシュロックによる配管

地域社会の一員として

関工場では2002年より看護学生の学外実習受け入れを行っています。

将来の看護師・保健師の担い手となる学生の方々へ「労働の場で健康を維持増進する仕組み」や「企業における産業看護の実際」を学んで頂いています。

また2013年より、関市内に「エコピアの森 関」を開所し、定期的に従業員による森林整備活動を実施しています。

同一敷地内での共存共栄

同一敷地内にゴルフボールを生産しているブリヂストンスポーツ(株)、リトレッドタイヤを生産するブリヂストンBRM(株)というグループ会社があり、安全・防災や環境保全などの様々な活動を協力して推進しています。



環境に配慮した工場を目指して

関工場では、「自然にやさしい物づくり 未来に残そう緑の大地」を環境スローガンに掲げ、様々な環境活動に取り組んでいます。

工場運営にあたっては、環境マネジメントシステム(ISO14001)を通じて、3R活動(Reduce, Reuse, Recycle)の徹底による資源生産性向上(原材料・水使用量)、CO₂排出量削減活動を推進しています。また、工業団地内の各社と連携して、各工場での環境活動が適正に行われているかを相互に確認する「環境パトロール」にも参画しています。

環境に優しい除草活動として、工場敷地周辺緑地において「ヤギ放牧による除草」を実施しています。焼却されていた雑草をヤギに食べてもらう事でCO₂排出量削減にも貢献しています。



ヤギ放牧による除草



看護学生の学外実習受け入れ

私にもできる、ドライブ前のチェックポイント

空気圧点検

エアゲージをお持ちでない方は…



マークのある販売店では、タイヤの安全点検を実施しております。お気軽にお立ち寄りください。



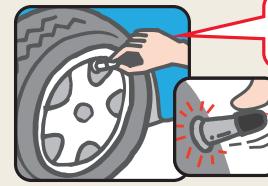
タイヤが冷えているのを確認してから走行直後はタイヤ、ホイールが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。



エアゲージ
ホイールにあるバルブの口にセットして空気圧の過不足を測ります。



石鹼水
石鹼水をつけて、バルブからの空気の漏れがないか確認します。



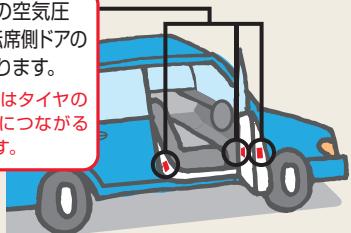
バルブキャップは
シッカリと締めよう。

バルブの根元も痛んでいないか
空気もれがないかチェック！

バルブキャップ
点検後は、バルブのキャップを忘れがちです。しっかり締め直しましょう。

●空気圧不足の時は、お近くのタイヤショップかガソリンスタンドなどで充填してください。

メーカー指定の空気圧表示シールは運転席側ドアのこの辺りにあります。



空気圧の過不足はタイヤの性能低下や事故につながるおそれがあります。



スペアタイヤの点検も忘れずに！

チッ素ガスのお薦め

タイヤの空気圧は時間とともに少しずつ低下します。
チッ素は空気と比べてこの“自然低下”を抑えることができます。

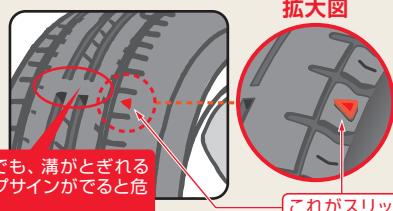
チッ素ガス充填のメリット

- 空気圧に比べ、内圧の低下が少ないため、管理がしやすい。
- 内圧の低下を抑えることにより、操縦安定性の維持向上、偏摩耗の抑制、燃費の維持に貢献する。



タイヤの外観チェック

これが摩耗の危険サインです！



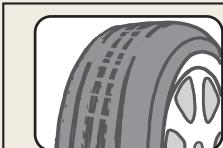
1ヶ所でも、溝がとがれるスリップサインができると危険です

拡大図

残り溝が1.6ミリになる目安としてスリップサインを設けています。スリップサインが1ヶ所でも出ると使用することを法律で規制されています。

これがスリップサイン表示マークです

タイヤチェック、3つのポイント



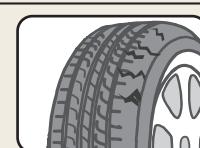
①ミゾ

すり減ったタイヤの雨の日は、制動距離が伸びて危険。ハイドロプレーニング現象も起こります。



②キズ

小さなキズが大きなバーストを起こす可能性があります。



③ヒビ

古く劣化してヒビ割れができていないかをチェック。

タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度それぞれ燃費が悪化します。^{※1}

燃費悪化率2%（市街地）、月に1,000km走るとして燃費=10km/l、ガソリン代=146円/l^{※2}で

なんと
ガソリン代 約3,500円/年の損失^{※3}

更に
CO₂排出量も増加します。

出典 / ※1: (社)日本自動車工業会

※2: 石油情報センター-2007年8月平均レギュラーガソリン単価

※3: (社)日本自動車工業会のデータに基づきブリヂストンにて試算

当社に関する情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

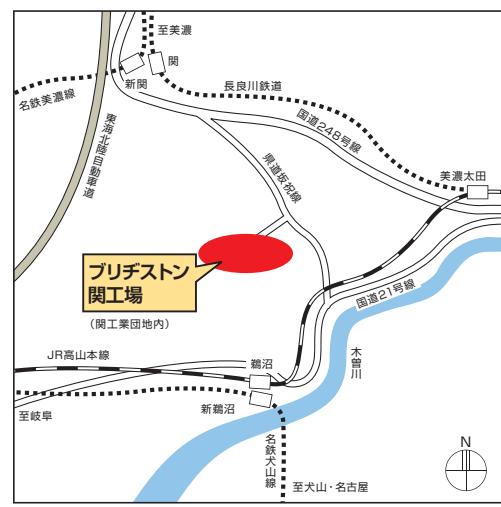
<http://www.bridgestone.co.jp>

株式会社ブリヂストン

関工場

岐阜県関市新迫間20 〒501-3923

電話 (0575) 23-4111



関工場/JR高山本線 鶴沼駅下車 タクシー約20分

名鉄犬山線 新鶴沼駅下車 タクシー約20分